

## 中学校 美術

### 解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**～大問 **2**については、マーク式解答用紙に、大問 **3**、**4**については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。  
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1**～大問 **2**の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。  
例えば、「解答番号は  」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号  の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 中学校学習指導要領（平成20年3月告示）に関する内容について、次の（1）～（7）の問いに答えよ。

（1）「第2章 第6節 美術 第1 目標」について、空欄の内容として適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

第1 目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、  豊かな情操を養う。

- 1 美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、
- 2 美術を愛好する心情を育てるとともに、美術の創造活動の喜びを味わい美的感受性、創造性、人間理解、研究心などをはぐくみ、独創的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、
- 3 美的体験を豊かにし、独創的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美的感受性、創造性、人間理解、研究心などをはぐくみ、美術文化についての理解を深め、
- 4 生涯にわたり、美術を愛好する心情を育てるとともに、美術文化についての理解を深め、美的体験を豊かにし、美術の創造活動の喜びを味わい、

（2）「第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕1 目標（3）」及び「〔第2学年及び第3学年〕1 目標（3）」について、共通して空欄に入る適切な語句はどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

〔第1学年〕

1 目標

（3）自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、  を育てる。

〔第2学年及び第3学年〕

1 目標

（3）自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、  を高める。

- 1 よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力
- 2 対象の見方や感じ方を広げる鑑賞の能力
- 3 意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力
- 4 豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法

(3)「第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕2 内容 A 表現(3)」  
について、空欄①～④にあとの選択肢A～Iのいずれかの語句を入れて文章を完成させる場合、  
正しい組合せはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

(3) ( ① ) を基に表現する活動を通して、( ② ) に関する次の事項を指導する。

ア ( ③ ) の表し方を身に付け、意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、  
創意工夫して表現すること。

イ 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、( ④ ) をもって表現す  
ること。

- A 見通し      B 関心      C 発想や構想      D 感じ取ったことや考えたことなど  
E 形や色彩など      F 技能      G 発想や構想をしたことなど      H イメージ  
I 生成した主題

	①	②	③	④
1	D	C	I	A
2	I	H	E	B
3	C	F	H	B
4	G	F	E	A

(4)「第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕2 内容 B 鑑賞(1)イ」  
について、空欄に入る適切な語句はどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

#### B 鑑賞

(1) 美術作品などのよさや美しさを感じ取り味わう活動を通して、鑑賞に関する次の事項を  
指導する。

イ 身近な地域や日本及び諸外国の美術の文化遺産などを鑑賞し、そのよさや美しさなど  
を感じ取り、 を高めること。

- 1 美術文化への理解と創造への関心
- 2 美術文化に対する関心
- 3 日本の美術や伝統文化に対する理解
- 4 美術文化の継承と創造への関心

- (5)「第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕1 目標 (2) 内容 A 表現 (2)」について、空欄の内容として適切なものを1～4から一つ選べ。

解答番号は

<p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(2) <input type="text"/> に関する次の事項を指導する。</p>
--

- 1 他者の立場に立って、伝えたい内容について分かりやすさや美しさなどを考え、絵や彫刻などに表現する活動を通して、技能
- 2 感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などに表現する活動を通して、発想や構想
- 3 感じ取ったことや考えたことなどを基に、デザインや工芸などに表現する活動を通して、技能
- 4 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想

- (6)「第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕2 内容〔共通事項〕」について、空欄(①)～(④)に入る適切な語句の組合せはどれか。選択肢1～4から一つ選べ。解答番号は

〔共通事項〕

(1) (①) の指導を通して、次の事項を指導する。

ア (②)、材料、光などの性質や、それらがもたらす(③)を理解すること。

イ (②)の特徴などを基に、対象の(④)をとらえること。

	①	②	③	④
1 「A表現」及び「B鑑賞」		形や色彩	感情	イメージ
2 デザイン・工芸		形態	イメージ	表現方法
3 デザイン・工芸		色彩	効果	特性
4 「A表現」及び「B鑑賞」		形態	効果	イメージ

(7)「第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (1) ア」において、スケッチの学習で育成する4つの力があげられている。空欄 ( ① ) ~ ( ④ ) に入る適切な内容の組合せはどれか。選択肢 1 ~ 4 から一つ選べ。解答番号は

2

(1)

ア ( ① ) や ( ② )、( ③ )、( ④ ) などを育成するために、スケッチの学習を効果的に取り入れるようにすること。

	①	②	③	④
1	考える力	工夫する力	感じ取る力	共感する力
2	描く力	イメージする力	共感する力	組み合わせる力
3	見る力	感じ取る力	考える力	描く力
4	イメージする力	考える力	批評し合う力	感じ取る力

2 (1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 次の美術に関する問い①～⑤について、最も適切なものを1～4から一つずつ選べ。

① 版画の技法で、平らな版の上で水と油の反発作用を利用して刷る技法はどれか。

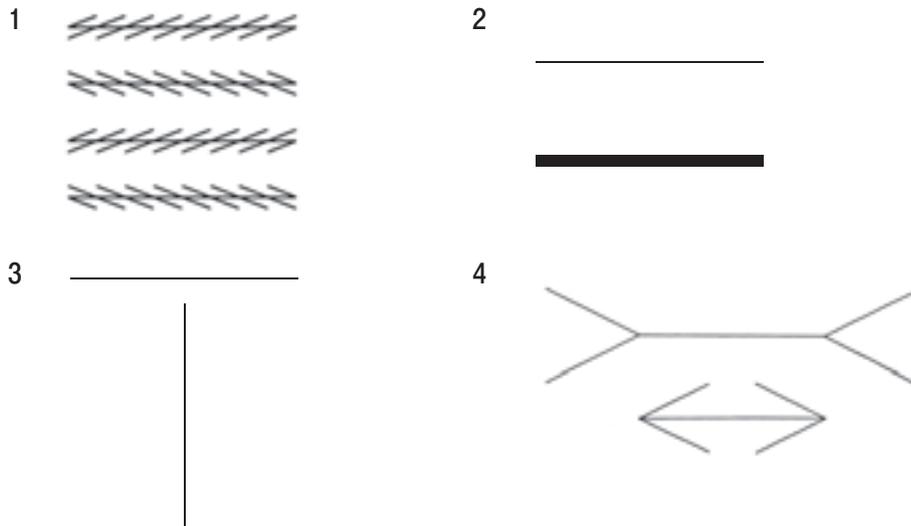
解答番号は

- |         |            |
|---------|------------|
| 1 エッチング | 2 ドライポイント  |
| 3 リトグラフ | 4 シルクスクリーン |

② 版画の技法で、ビュランと呼ばれる道具を使用し、直接版面に線（イメージ）を刻み込む技法はどれか。解答番号は

- |            |          |
|------------|----------|
| 1 エンレーヴィング | 2 アクアチント |
| 3 メゾチント    | 4 コラグラフ  |

③ 「ミュラー・リヤーの錯視」と呼ばれる、実際は等しい長さだが、付加図形の影響で異なる長さに見える図はどれか。解答番号は



④ 絵文字や絵言葉であり、表現対象である事物や情報から視覚イメージを抽出、抽象化し、文字以外の単純な図記号によって表したものはどれか。解答番号は

- |         |              |
|---------|--------------|
| 1 マッピング | 2 ピクトグラム     |
| 3 モジュール | 4 ユニバーサルデザイン |

⑤ 映像の技法で、色の違いを利用して抜き取りたい被写体を背景から分離し、別の画面にはめ込む技法はどれか。解答番号は

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1 クロマキー   | 2 タイムラプス  |
| 3 トランジション | 4 アニメーション |

(2) 次の図1～3に関する問い①～⑦について、最も適切なものを1～4から一つずつ選べ。

<p>著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。</p> <p>「突風」北斎にならって」 ジェフ・ウォール作 テイトギャラリー蔵</p>	<p>著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。</p> <p>「印象・日の出」 クロード・モネ作 マルモッタン・モネ美術館蔵</p>	<p>著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。</p> <p>Blue Poles [Number 11, 1952] ジャクソン・ポロック作 National Gallery of Australia蔵</p>
---	--	--

図1

図2

図3

① 図1は、日本の江戸時代を代表する浮世絵師の作品にちなんで、写真を用いて再解釈したジェフ・ウォールによる作品である。作品元となった作者は誰か。解答番号は

- 1 歌川広重                      2 東洲斎写楽                      3 葛飾北斎                      4 喜多川歌麿

② 図1で用いられている「組み立て」という意味のフランス語から名前が由来している、ひとつの画面に2つ以上の映像を重ねたり、合成したりする表現方法はどれか。解答番号は

- 1 モンタージュ                      2 コラージュ                      3 トリミング                      4 デフォルマシオン

③ 図2の作品の作者は誰か。解答番号は

- 1 オーギュスト・ルノワール                      2 エドゥアール・マネ  
3 ウィリアム・ターナー                      4 クロード・モネ

④ 図2の作品名が由来となった芸術運動はどれか。解答番号は

- 1 ロマン主義                      2 印象主義                      3 象徴主義                      4 写実主義

⑤ 図2の作者と同じ芸術運動に属さない芸術家は誰か。解答番号は

- 1 カミーユ・コロー                      2 エドガー・ドガ  
3 アルフレッド・シスレー                      4 メアリー・カサット

⑥ 図3の作者は誰か。解答番号は

- 1 マーク・ロスコ                      2 ウィレム・デ・クーニング  
3 ジャクソン・ポロック                      4 マックス・エルンスト

⑦ 図3で用いられている絵の具を任意にしたたらせるなどして描く表現技法はどれか。

解答番号は

- 1 ドリッピング                      2 マーブリング  
3 フロッタージュ                      4 デカルコマニー

3 次の作品Aに関する(1)～(4)の問いに答えよ。

作品A

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

「リンゴとオレンジ」  
ポール・セザンヌ作  
オルセー美術館蔵

(1) 作品Aの作者名を答えよ。

(2) 以下の文中の①～②にあてはまる語句を、それぞれ下のア～クより選べ。

作品Aは、( ① ) 頃に描かれた作品である。

作品Aの作者は、当初は( ② )の画家として活動していたが、のちに、独自の様式を発展させ、その対象のとらえ方は20世紀絵画に大きな影響を与えたといわれている。

ア 18世紀後半	イ 19世紀前半	ウ 19世紀後半	エ 20世紀前半
オ 新古典主義	カ キュビズム	キ 印象主義	ク 写実主義

(3) 作品Aの表現の特徴について、下の言葉より5つ選び、これらを用いて40字以内で説明せよ。

遠近法 表現意図 部分 輪郭 写実 強調 単一 複数 視点

(4) 作品Aと同様の作者の作品を、下のア～ウから選び、記号で答えよ。

ア

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

「モレの橋」  
アルフレッド・シスレー作  
オルセー美術館蔵

イ

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

「アルルのダンスホール」  
フィンセント・ファン・ゴッホ作  
オルセー美術館蔵

ウ

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

「サント・ヴィクトワール山」  
ポール・セザンヌ作  
オルセー美術館蔵

4 中学校学習指導要領（平成20年3月告示）「第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕 2内容」について、「A 表現（1）、（3）」と「B 鑑賞」の関連を図った指導計画を作成する。（1）、（2）の問いに答えよ。ただし、時数は10時間とする。

（1）題材名を次のように設定した。制作のプロセス及び、指導上の留意点にふれて「題材の概要」を記せ。なお、生徒が多様な視点で自分を見つめ、豊かに発想し表現することができるような指導の工夫について必ず記述することとする。

題材名	自画像「自分を見つめて」
-----	--------------

（2）（1）の題材における「題材の目標」及び、評価の4つの観点とそれぞれの評価規準を記せ。

